

## 事業報告

### I 事業の概況

本公益財団法人は、岡山県における理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携を図り、もって学術及び技術開発の進展に寄与することを目的として以下の事業を実施した。

#### 1 事業の実施状況

##### 1. 学術研究助成事業

公益目的事業1（岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

###### (1) 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

###### (2) 事業の概要

###### イ) 学術研究助成の対象

理工学の学術分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行うもの、または2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの。

###### ロ) 研究助成の種目と助成額

###### A) 内山勇三科学技術賞

内山工業(株)元会長故内山勇三氏の寄附金により設けたもので、特色ある先導的な研究を対象とする。

2件	1件	200万円	400万円
----	----	-------	-------

###### B) 岡山工学振興会科学技術賞

一般研究 特色ある研究を格段に発展させるための研究を対象とする。

3件	1件	70万円	210万円
----	----	------	-------

奨励研究 37歳才以下の研究者が主体的に行う研究で、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究を対象とする。

4件	1件	40万円	160万円
----	----	------	-------

###### C) 岡山県産業振興財団科学技術賞

産業先行研究 岡山県技術振興基金事業「若手研究者支援助成金事業」により設けたもので、37歳以下の研究者が行う産業界のニーズに応える研究を対象とする。

5件 1件 40万円 200万円

ハ) 募集方法

岡山県内の大学理工系学部及び高専、研究機関に3月初旬公募要項を配布（財団ニュース111号及び財団ホームページに掲載）4月20日に締切った。

ニ) 選考方法

研究分野による専門委員の選考と併せ選考委員会において選考した。

ホ) 研究助成応募状況

種 別		応募数	採択数	採択率	備考
内山勇三科学技術賞	特別研究	7件	2件	29%	
岡山工学振興会科学技術賞	一般研究	17	3	18	
	奨励研究	7	4	57	
岡山県産業振興財団科学技術賞	産業先行研究	6	5	83	
計		37	14	38	

(3) 研究助成採択課題と研究代表者

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額 万円
内山勇三 科学技術賞 特別研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 教授	林 靖彦	2層カーボンナノチューブ紡績糸とポリマー系からなる複合撚糸構造ソフトアクチュエータの開発	200
	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 (環境理工学部) 准教授	高口 豊	CO <sub>2</sub> フリー水素製造を指向した色素内包カーボンナノチューブ光触媒を用いる完全水分解反応系の開発	200
岡山工学 振興会 科学技術賞 一般研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (理学系) 准教授	大久保 貴広	サブナノ空間を多量に有する窒化ホウ素触媒の開発	70
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助教	萬代 大樹	有機分子の特定の官能基を狙い撃ちする高度分子変換反応の開発	70
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助教	渡邊 和則	マイクロ RNA-664a を用いたアポトーシス制御法の開発とアポトーシス誘導機構の解明	70

岡山工学 振興会 科学技術賞 奨励研究	岡山大学 異分野基礎科学研究所 (理学系) 助教	森 裕樹	高効率有機薄膜太陽電池に向けた p 型半導体ポリマーの開発	40
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助教	溝口 玄樹	アルコキシドを配向基として精密制御するアルケニルボロン酸アート錯体の 1, 2-メタレート転位	40
	岡山大学大学院 ヘルスシステム 総合科学研究科 (工学系) 助教	岡田 宣宏	癌の不均一性形成機構の解明による先制的な乳癌治療の実現	40
	岡山理科大学 工学部 助教	奥田 靖浩	炭素(sp) - 窒素結合形成を經由したイナミン誘導体の合成と続く応用反応	40
岡山県産業 振興財団科 学技術賞 産業先行 研究	岡山大学 異分野基礎科学研究所 (理学系) 助教	岩崎 真之	硫黄原子の直截導入法を利用した次世代型有機光学材料の創出	40
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 講師	高石 和人	X 字形円偏光発光色素の合成	40
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助教	大宮 祐也	次世代プラントおよび水素燃料ライン等のジョイント部におけるゼロナノリーク的确立	40
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助教	高橋 明子	数値モデルを用いた太陽光発電電力の平滑化制御法に関する研究	40
	津山工業高等専門学校 総合理工学科 助教	野中 摂護	トレーラー型連結車両におけるジャックナイフ現象を考慮した制御に関する研究	40

## 2. 国際研究集会等派遣の助成

公益目的事業 2（国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

### (1) 事業の目的

岡山県内の大学及び研究機関等の優れた研究者等を、国外で開催される理工学分野の先端技術に関する研究集会に派遣することにより、その専攻する学術研究成果についての発表、情報収集、交換等の活動を援助することを目的とする。

(2) 助成対象の研究集会

外国で開催される国際研究集会で国際的に権威のある学会、学術団体、又は学術研究機関等が主催するもの。

(3) 国際研究集会等派遣助成実績

次の国際研究集会 5 件に対し、43.5 万円の助成を行った。

部 局	職	氏 名	研 究 集 会 名	開 催 地
岡山大学大学院 自然科学研究科	准教授	後藤 佑介	第 21 回ネットワークベースの情報システムに関する国際会議	スロバキア ブラチスラヴァ
岡山大学大学院環 境生命科学研究所	助教	金 兼洙	第 7 回国際不飽和土学会	中国 香港
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生 修士 2 年	大村 健人	第 16 回ニューアクチュエータに関する国際会議	ドイツ ブレーメン
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生 修士 2 年	湯崎 真弘	第 16 回ニューアクチュエータに関する国際会議	ドイツ ブレーメン
岡山大学大学院 自然科学研究科	学生 修士 1 年	谷本 悠輔	第 21 回先進的砥粒加工技術に関する国際シンポジウム	カナダ トロント

3. 学術研究集会、学術講演会の助成

公益目的事業 3（岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

(1) 事業の目的

岡山県内で開催される理工学に関する学術研究集会、学術講演会等に対し、その開催経費の一部を補助し、研究活動を支援することを目的とする。

(2) 助成対象の研究集会

イ) 学協会及びその支部が主催するもの。

岡山県内で開催される学会、シンポジウム、研究会、講演会、公開セミナー講習会等。

ロ) 公知された懇話会、研究会等が主催するもの。

ハ) 財団が認める組織が主催するもの。

(3) 学術研究集会、学術講演会の助成実績

次の研究集会 5 件に対して、15.5 万円の助成を行った。

研 究 集 会 名	主 催 団 体	世 話 人
日本生産管理学会中国・四国支部 支部研究会	日本生産管理学会 中国・四国支部	岡山大学 柳川 佳也
先進加工技術懇話会 第 92 回例会	先進加工技術懇話会	岡山大学 岡田 晃
第 27 回微粒化シンポジウム	日本液体微粒化学会	岡山大学 河原 伸幸

日本機械学会中国四国支部MD&T研究会	日本機械学会 中国四国支部	岡山理科大学 關 正憲
2nd Workshop on BioEngineering in Okayama	岡山大学医歯薬学総合研究科	岡山大学 Hara Emillio Satoshi

#### 4. 産学官連携事業の助成

公益目的事業4（岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

##### (1) 事業の目的

岡山県内の大学、研究機関、企業、行政等で構成される理工学に関する研究会等に対し、その経費の一部を補助し、研究活動及び産学官連携の促進を支援することを目的とする。

##### (2) 助成対象の研究会等

財団が設置を認めた産学官連携研究会等

(3) 産学官連携研究会等の助成実績	6件	24万円
岡山新材料技術融合フォーラム		7万円
C5ケミカル新技術研究会		2万円
「機能性ナノ複合材料」科学・技術研究フォーラム		2万円
岡山振動音響技術研究会		8万円
バイオジナスマテリアル機能化研究会		2万円
オープンイノベーション機構設置研究会		3万円

#### 5. 学術交流推進助成事業

公益目的事業5（岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成）に掲げる事業は次により行った。

##### (1) 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

##### (2) 事業の概要

学術交流推進助成の対象

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
学術交流 推進事業	岡山大学 准教授	仁科 勇太	機能性炭素マテリアルの研究開発	万円 50
	岡山大学 特命教授	尾坂 明義	新規歯科用セラミックスの開発	70
	岡山大学 特任教授	高田 潤	機能性材料の開発	50

学術交流 推進事業	岡山大学 教授	藤井 正浩	粘弾性材料の摩擦低減に関する研究	50
	岡山大学 教授	藤井 達生	磁性酸化鉄材料の研究開発	30
	川崎医科大学 特任教授	加来 浩平	血管内皮細胞生理活性因子による 内臓肥満抑制の分子基盤解明と新 規治療法の探索	100
	川崎医科大学 教授	原 浩貴	鼻呼吸障害が睡眠中の呼吸機能に 及ぼす影響に関する研究	50
	岡山大学 准教授	岡本 康寛	レーザ加工の高機能化に関する研 究開発	100
	計			8 件

#### 6. 学術的研究成果並びに先端学術情報等の普及の促進

定款第4条(3)(成果の普及)(4)(情報の収集及び提供)に掲げる事業は次により行った。

##### (1) 学術的研究成果及び学術情報の普及

学術研究助成者による講演会を開催。

岡山大学工学部研究年報、理学部研究業績一覧、県内大学の研究年報等並びに(公財)岡山工学振興会ニュースを企業・研究機関に提供。

ホームページ(URL: <http://ofst.or.jp/>)に掲載

##### (2) ANNUAL REPORT OF THE OKAYAMA FOUNDATION FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY

(公財)岡山工学振興会年報の発行と配布

学術研究助成者の研究成果報告等の報告にもとづき、ANNUAL REPORTを毎年発行し、県内の大学、研究機関及び企業に配布した。

#### 7. 地域企業等との連携・交流事業

定款第4条(5)(6)(連携・交流)に掲げる事業は次により行った。

##### (1) 岡山新材料技術融合フォーラムの開催

##### (2) C5ケミカル新技術研究会おもしろ体験でえーの開催

##### (3) 機能性ナノ複合材料科学・技術研究フォーラムの開催

##### (4) 岡山振動音響技術研究会の開催

##### (5) バイオジナスマテリアル機能化研究会の開催

##### (6) オープンイノベーション機構設置の重要性を広報誌でアピール

##### (7) 「ほっと交流会」の開催

## 8. 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄 附 者	申込金額	領収金額	備考
学術研究助成	池田食研(株)	50	50	
	(株)ジーシー研究所	70	70	
	戸田工業(株)	50	50	
	内山工業(株)	50	50	
	DOWA エフテック(株)	30	30	
	(医)伯鳳会 赤穂中央病院	100	100	
	(医)伯鳳会 赤穂中央病院	50	50	
	(株)片岡製作所	100	100	
		合 計	500	500

## 2 重要な契約に関する事項

「該当なし」

## 3 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位：万円)

	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期	平成 30 年 3 月期
経常収益合計	3,536	3,329	2,512	2,880
経常費用合計	2,908	3,298	2,646	3,101
当期正味財産増減額	8,591	△4,015	884	△325
資産合計	51,863	47,891	48,818	48,548
負債合計	380	423	465	520
正味財産	51,483	47,468	48,353	48,028

## II 法人の課題

「該当なし」

## III 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

監事2名を置いて、理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成することとしている。

## IV 株式保有している場合の概要

内山工業株式会社株券を研究助成基金として寄附を受け、その運用益を公益事業の財源として使用している。

## V 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

「該当なし」

## 事業報告の附属明細書

- 1 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項  
「該当なし」
- 2 事業の状況について補足すべき重要な事項
  - (1) 岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業  
理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が単独又は複数の研究者が同一の研究課題について共同で行うものを助成対象とする
  - (2) 国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業  
外国で開催される理工学分野の先端技術に関する国際研究集会で、国際的に権威のある学会、学術団体又は学術研究機関等が主催するものを助成対象とする
  - (3) 岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業  
岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する先端技術に関する学術研究集会を助成対象とする
  - (4) 岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業  
理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会を助成対象とする
  - (5) 岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成  
岡山県内の研究機関等に所属する研究者等で、理工系の基礎及び応用研究又はこれらに関わる学術集会等を助成対象とする
- 3 許認可について補足すべき事項  
「該当なし」
- 4 事業の実施状況についての補足すべき事項  
「該当なし」
- 5 役員会等に関する補足すべき事項  
「該当なし」
- 6 正味財産増減の状況並びに財産の増減の推移についての補足すべき事項  
「該当なし」